

第46巻 第4号 予告

特集「産業廃棄物問題とその対策」

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. 産業廃棄物問題と解決への法改正 | 仁井正夫 |
| 2. 香川県豊島の産業廃棄物問題とその解決への方策 | 高月 紘 |
| 3. 産業廃棄物処理業の果たす役割 | 鈴木勇吉 |
| 4. 法制面から見た産業廃棄物問題 | 北村喜宣 |
| 5. いわてクリーンセンター建設とその課題 | 吉田 茂 |
| 6. 廃棄物処理コースで産業廃棄物処理について検討した研究成果 | 田中 勝
池口 孝 |

国立公衆衛生院特別講義（公開）

下記の日程で「特別講義」（公開）を開催いたします。参加ご希望の方は教務課
(03-3441-7111代) までご連絡下さい。

1997年12月11日(木) 13:30~15:00	重松逸造 放射線影響研究所名誉顧問	21世紀の公衆衛生に望む
1998年1月22日(木) 13:30~15:00	小町喜男 大阪府公衆衛生研究所顧問	地域保健対策と評価
1998年1月29日(木) 13:30~15:00	座長：田中 勝 国立公衆衛生院廃棄物工学部	ダイオキシン問題に関する パネルディスカッション

編 集 後 記

1991年、本誌が、それまでの「公衆衛生院研究報告」から「公衆衛生研究」と誌名を変え、新しいスタイルになった最初の特集が「保健所はいま」というものであった。それから6年が過ぎた。保健所法が地域保健法になり、保健所の新たな機能が求められている。「保健所はいま」のなかでもさまざまな提言や役割の模索がなされているのだが、それらは、どう活かされたのだろうかと考えたりする。今回の特集も、都道府県や保健所の人たち、あるいは市町村や関係の人たちにどのように受け止められたのかということは気になるところである。いずれにしても、特集は、公衆衛生院からの今日的な問題提起的発信と位置づけていただき、ご意見や感想をいただきたいところである。

インターネット上での公衆衛生院のホームページも開設されているので、そちらも利用していただき、大いに議論が巻き起こればと思う。

(<http://www.iph.go.jp>)